

**生活支援体制づくり協議体（地域包括支援センター和地
担当圏域レベル）開催報告書**

| | |
|----------------|---|
| 1 開催日時 | 令和8年2月3日（火） 13時30分 ～ 15時50分 |
| 2 開催場所 | 庄内協働センター ホール |
| 3 参加者 | 委員：13人 事務局：4人 その他：5人（地域活動発表者1人、高齢者福祉課1人、地域包括支援センター2人、庄内協働センター1人） |
| 4 協議の内容 | <p>1. 開会</p> <p>2. 会長挨拶</p> <p>3. 協議事業</p> <p>(1)第2回協議体会議の振り返り</p> <ul style="list-style-type: none">・第2回協議体の内容についてグループワークの意見など振り返りを行った。 <p>(2)和光町おしゃべり会の立ち上げから現在の活動・課題について</p> <ul style="list-style-type: none">・和光町おしゃべり会について、和地地区委員4名と地域活動発表者1名から報告をした。 <p>(3)地区ごとのグループワーク</p> <ul style="list-style-type: none">・下記参照（和地圏域生活支援体制づくり協議体 グループワーク報告） <p>(4)令和8年度 協議体協議事項について</p> <ul style="list-style-type: none">・令和8年度の協議体協議事項として「移動を伴う付き添い支援」をテーマにすることを事務局より提案。対する意見などを委員に確認した。 <p>4. 情報提供</p> <ul style="list-style-type: none">*浜松市内の生活支援体制づくり協議体協議事項の共有。 <p>浜松市社会福祉協議会 地域支援課より、市内協議体での協議事項について説明を行った。</p> <p>5. 連絡事項</p> <p>(1)次回日程 令和8年6月1日（月）9：30～ 伊佐見協働センターホール(予定)</p> <p>(2)市社協西地区センターより、災害に関する研修を案内。</p> <p>7. 閉会</p> |

5 今後の見通し・ 必要な対応

- ・居場所(サロンやカフェなど)については、各地域で新規立ち上げの相談があった際に支援できるよう情報共有や各団体で何ができるか継続して検討をしていく。
- ・令和8年度は「移動を伴う付き添い支援」についての情報提供を中心に協議をしていく。各地域の状況について情報収集を行っていく。

和地圏域生活支援体制づくり協議体 グループワーク報告

*今年度の協議体の話し合いを受けて

- ・地域の活動について、地区社協だよりなどの広報物を使ってさらに地域に活動が広められるようにしていきたい。参加していない人からすると「何をやっているか分からない」となっているため、活動内容も合わせて周知できた方が良い。
- ・実際に活動を発足し、保険の重要性や送迎の難しさなどを感じている。活動者同士でも情報共有をしていきたい。

*今後の地域の居場所づくりをどのように考えていくか

- ・各町で開催されているサロンやカフェ、シニアクラブなどどのように開催されているのか。また、開催されていない地域もあり、コロナ禍で衰退したり場所はあっても担い手がいなかったりする。
- ・集会所などの会場を作らずとも、集まって好きなときに話ができるようなきっかけを作っていく。
- ・庄内協働センターで、「思い出の曲カフェ(レコードを聞く)」を催し大勢の住民が集まった。このような催しは需要があることが分かった。

*地域のなかで「居場所を作りたい」と話す住民が現れたときに、各所属団体として何が できるか

- ・自治会連合会として、各自治会長へサロンやカフェなど地域住民の居場所のためには柔軟に貸出をするように話をした。自治会長自らが居場所の立ち上げ人となることは難しい場合もあるが、自治会としては応援ができるようにしていきたい。
- ・まだまだ自治会が地域のサロン活動を知らないこともある。町内の高齢者を支えるために開催されているものとして、自治会長にも承知をしてもらいたい。
- ・地区社協として、地域の課題から考えた事業を開催するようにしていきたい。
- ・立ち上げのためにも地域の複数の団体関わって検討するようにした方が良い。

*令和8年度協議体テーマ 「移動を伴う付き添い支援」について

- ・地区全体でどのように取り組んでいくのか慎重な検討が必要。
- ・既にサロンでは送迎が必要という意見が出ている。必要となっている実情を確認しながら地域住民が利用できるように検討していきたい。
- ・地区社協や自治会役員などは大半の方が複数の役職の担い手をしている。これ以上負担がないようにしていきたい。

*「移動を伴う付き添い支援」について知りたいこと

- ・使える保険制度を知りたい。
- ・そもそもの家事支援制度のメニューとの整合性
- ・取り組むためにも他地区社協の活動内容などを反映させたパッケージのようなものを作成してほしい。